

令和4年度補正海外市場調査等事業費補助金

(インド太平洋・中南米地域サプライチェーン参画支援事業費)

令和4年度補正予算 8.0億円

事業の内容

事業目的・概要

- 企業が直面するサプライチェーン途絶のリスクは、昨今ますます多様化しています。自然災害、地域紛争、パンデミック、投資先/調達先の政情不安、政策変更による事業環境の急変等によるサプライチェーンの途絶や価格高騰だけでなく、サプライチェーン全体でのCO2排出量の低減や人権問題への対処等、共通価値への対応も求められています。
- 上記現状を踏まえ、共通価値を有する国・地域同士の連携を通じた信頼できるサプライチェーンの構築（フレンドショアリング）の必要性が高まっています。
- そこで、サプライチェーンの強靭性・柔軟性を高めるため、デジタル技術を活用した企業間のデータ連携・連携基盤の構築、リスクの可視化、物流の高度化、貿易手続の円滑化、生産拠点の多元化等を通じた事業環境整備に取り組む企業に対する支援を行なうことで、サプライチェーンの強靭化に係る優良事例の創出、フレンドショアリングへの参画ハードルの引き下げ等を推進します。

条件（対象事業、補助率等）

対象事業：

当該地域において、デジタル技術等を活用しサプライチェーンの強靭化・高度化に資する事業

補助率：

大企業1/3以内、中小企業等1/2以内

※全地域とも補助上限は1億円

募集期間：

令和5年3月30日（木）～令和5年5月30日（火）16時

※令和5年4月28日（金）16時までには受理された案件につきましては、特に優れた事業について先行採択します。

事業イメージ

サプライチェーン強靭化FS・実証事業

- インド太平洋地域及び中南米地域におけるサプライチェーン強靭化を実現するため、日本企業によるサプライチェーン可視化、ロジスティクスの高度化、貿易手続円滑化、生産拠点の多元化及びサプライチェーンに係るデータ連携・共有基盤の構築に向けた実証・FS調査・人材育成等を実施します。

○想定支援事業類型

1. サプライチェーン可視化

サプライチェーン工程のデジタル化により、存在するリスクを可視化することでレジリエンス向上と産業競争力の強化を実現する事業等

2. ロジスティクスの高度化

物流をリアルタイムで把握できるシステム等の構築により、SC強靭化とロジスティクスの最適化を実現する事業等

3. 貿易手続円滑化

通関申請に必要な貨物の到着日時を正確に予測するためのシステム構築を通じ、通関手続に要する日数を削減する事業等

4. 生産拠点の多元化

生産拠点の多元化を通じサプライチェーン強靭化を実現しようとする事業等

5. データ連携・共有基盤の構築

サプライチェーン上での企業間のデータの共有・連携を可能にするデジタル基盤の整備を行なう事業等

